

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立田辺小	学校	児童数	93
---------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.57	18.33	34.87	35.79	46.58	9.55	143.82	21.74	49.29
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.00	19.70	40.60	33.54	39.59	9.90	139.70	12.74	51.94
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

○男子は、「長座体前屈」「ソフトボール投げ」において全国平均、大阪市平均を上回った。「20mシャトルラン」については大阪市平均より上回った。その他の種目はいずれも全国平均、大阪市平均を下回った。「体力合計点」についても大阪市、全国の平均を下回る結果となった。

○女子は、「上体起こし」「長座体前屈」「20mシャトルラン」において全国平均、大阪市平均を上回る結果となった。「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」については大阪市平均より上回った。その他の種目はいずれも全国平均、大阪市平均を下回った。「体力合計点」についても大阪市、全国平均より下回る結果となった。

○質問紙において「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目において、肯定的な回答が男子は全校平均、大阪市平均を上回った。女子は全国平均を少し下回ったが、大阪市平均よりは上回る結果となった。また「1週間の総運動時間」において週当たり60分未満の児童の割合は、男子は10.6%、女子は12.8%であった。ほとんどの児童が多くの時間を運動に費やすことができる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校は「水泳田辺」を掲げ、水泳指導に全校をあげて取り組んでいる。6年生では1km遠泳が達成できるように、泳力の向上に努めている。水泳の全身的な体の動きが、児童の体力向上に大きく貢献していることは言うまでもない。体育科の学習では、6年間の段階的な指導の実現に向けて、本校独自の年間指導計画を作成し、各領域の運動を児童の発達段階に合わせて取り組むことができるようにしている。また、今年度も体育研修を行い、指導力向上を図ることができた。

今後の課題としては、さらに指導力向上を図るために研修会を実施していく。また、体育用具を計画的に揃えていき、子どもたちの運動量の確保や効果的な場の設定づくりに努めたい。そして、「今日は運動の〇〇についてわかった。（気づき）」や「次の時間は〇〇に取り組んでみよう。（次の学習の目標）」などについて考える機会を設けることで、意欲をもって学習に臨むことのできる態度を養っていきたい。昨年度に引き続き、より「できた」と味わうことができるように、スモールステップで運動に取り組めるような計画を立案、効果的な場の設定や指導時の声のかけ方等の教材研究に注力し、指導力向上を図っていく。